

志波城跡

国指定史跡

1200年前の平安時代に
タイムスリップ



ぼくの名前はしわまろ
ぼくと いっしょに
志波城をたれけんしよう!

盛岡市教育委員会

志波城とは？

志波城は、いまから約1,200年前の803年(延暦22)に大和朝廷がエミシとよばれた人たちの

暮らしていた東北地方を治めるため、坂上田村麻呂によってつくられた城柵です。



蝦夷・エミシとは？

奈良時代から平安時代(いまから約1,300~1,000年前)、都の人たちは東北地方に暮らしていた人たちのことを「蝦夷(エミシ)」と呼んでいました。

「エミシ」とはもともと、強い人、悪い人という意味で使われていたようですが、都の人たちは、言葉やならわしの違った東北地方に暮らす人々を自分たちと違う人と考え、そのように呼んだのです。

兵士のくらし

外側の堀から約100m内側には、兵士が暮らした竪穴住居跡が1,200~2,000軒あったと考えられています。志波城の中で兵士たちはどのようなくらしをしていたのだろうか。

竪穴住居跡と土器

竪穴住居跡は正方形か長方形で、大きさは1辺が4~5mのものが多く、壁際に煮炊きをするための「かまど」がつくられ、煙が外に出るようなしくみになっていました。



竪穴住居跡からは煮炊きや食器として使われた土器が見つかっています。中には、「上埴」(千葉県)「佐井」(新潟県)などといった兵士の出身地を畫いたと考えられる土器が見つかっています。



1200年前の志波城~最大級の城柵~

840m四方の築地塼(土を積み重ねた土塼)と、928m四方の大溝で囲まれていました。その大きさは、東北地方につくられた城柵のなかでも大きく、陸奥国(東北地方の太平洋側)全体を治めるためにつくられた多賀城と間くらしい大きさがありました。

城を囲む塼の真ん中には大きな門があり、さらに塼をまたぐように奥行き用のやくらが80mおきにつくられていました。また、塼の中心には150m四方の政庁と呼ばれるいちばん重要な場所がありました。

築地塼とやくら

外側には、高さ4.5mの築地塼(土を積み重ねた土塼)と、見張りのために高さ5mのやくらがありました。

志波城では今どんなことをしているの？

志波城の昔の様子を調べるために発掘調査をしています。発掘調査でわかったことをもとに、昔の志波城のすがたをわかりやすくするため建物を復元したり、地下に残っている建物の跡などを守るための工事をしています。

外大溝と橋

都からの役人やエミシたちはこの大きな溝にかかった橋をわたって城の中に入っていました。

外郭南門

志波城の正門である外側の南門は幅15m、奥行き6m、高さ11mあります。



志波城の北側は、洪水でけずられたために残っていないんだ。

政庁

150m四方、高さ3.5mの築地塼で囲まれたほぼまん中に正廳が、そして東西には脇廳といわれる建物があり、エミシからみつぎものを受け取ったり、もてなしたりする儀式がおこなわれていました。

どうして志波城はなくなってしまったの？
志波城は雫石川の洪水が原因で、つくられてから10年で後丹城に引越しました。

官衙

ここでは、志波城を管理するための仕事のほか、エミシから受け取ったみつぎものを都に送る準備をしたりしていたと考えられています。



志波城古代公園
〒020-0855 岩手県盛岡市上鷹堂五兵衛新田48-1
TEL・FAX 019(658)1710
案内所: 9:00~17:00まで(3月15日~12月20日の間)
入館料: 無料

盛岡市教育委員会
〒020-8532 岩手県盛岡市津志田14-37-2
TEL 019(639)9067(歴史文化課)
FAX 019(639)9047
URL <http://www.city.morioka.iwate.jp>

クイズのこたえ ①160mおき ②1200~2000軒 ③18m x 9m